

● 活動目的

1. WHO／UNICEF「母乳育児がうまくいくための 10 のステップ(2018 年改定)」に基づき、継続的且つ包括的に母乳育児を支援することを目的として、母乳育児推進室を設置し組織的に運営を行う。
2. 支援の対象は、当院で出生した健康な正期産新生児だけでなく、NICU や小児科病棟などに入院する病児とその母親、疾患を持つ母親など、すべての児と母親、その家族とする。
3. 母乳育児中の母子だけでなく、疾患などのために母乳育児ができない母子に対しても適切な支援を提供する。

● 活動状況

1. 推進室会議:2 か月に 1 回開催

2. 院内活動

1) 研修

- a) 新採用者向け研修:赤ちゃんにやさしい病院(BFH)オリエンテーション(服部真理子)
- b) 初期研修医・学生向け研修:
 - ① 4 月「妊娠・授乳と薬剤」塚原沙耶(産婦人科)・村上美智子(新生児科)
 - ② 6 月「BFH とは」(助産学生)
 - 3 月「BFH とは」(看護学生)柚木直子(6A)中村和恵(新生児科)

2) 院内での連携・啓発活動

- a) 各病棟からの授乳婦の母乳育児相談(随時)
- b) 妊娠・授乳と薬剤に関する相談(妊娠と薬外来、薬剤部と連携)
- c) 新型コロナウイルス陽性妊婦の出産後の支援:
 - ① 西 2、西 4、5B、6A の各病棟と連携し、搾乳の支援、退院前の授乳支援、退院後の子育て支援を継続的に行った。
 - ② コロナ陽性の母親の搾乳の使用に関する手順を作成し実施した。

3. 院外への情報発信

1) 保健医療従事者対象

- a) 岡山県看護協会・新人助産師研修:
講師:有森 陽子(6A)、柚木 直子(6A) 8 月
多田 克彦(産婦人科)、中村 信(新生児科) 5 月
- b) BFH 連絡会議参加(東京):11 月 12 日開催
上田、本庄
- c) 岡山大学「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 27 講師 2025 年 1 月 10 日
塚原、影山、片山、倉崎
- d) 岡山大学「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 28 講師 2025 年 2 月 6 日
影山、國安、松田
- e) 世界早産児デー 岡山城ライトアップ 企画参加・提案 11 月 17 日
- f) 岡山ペリネイタルミーティング子育て支援部会 11 月 28 日

2) 患者様ご家族、一般の方対象

- a) 国際助産師の日(看護協会) BFH ポスター展示:11 月 3 日(いいお産の日)
- b) 中高生への性教育出前講座、5 月、9 月

4. 赤ちゃんにやさしい病院月間(毎年 8 月 1 日-31 日)活動

- 1) 世界母乳育児週間(8 月第 1 週)にあわせて、2017 年より 8 月を「赤ちゃんにやさしい病院」月間と設定し、乳幼児の栄養に関する啓発活動を行っている。
- 2) 2024 年度活動
 - a) 「赤ちゃんにやさしい病院月間」垂れ幕掲示

- b) 「赤ちゃんにやさしい病院新聞 vol. 7」作成・配布
- c) 「赤ちゃんにやさしい病院」認定 30 周年ポスター展示継続(2021 年 8 月～2025 年 3 月)
- d) BFHラウンド:「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」違反がないか、病棟や外来、売店などを見て回った。明らかな違反はなかった。

5. 特記事項

岡山県の総合周産期センターとして岡山ペリネイタルミーティングを毎年主催しているが、2024 年度から新たに助産師を中心とした県内のネットワークづくり、顔の見える関係の地域連携、母乳育児の推進を目的として「子育て支援部会」を新たに立ち上げ。外部委員(県内助産師、行政)にも加わっていただきより広域に活動を開始した。約 70 名の参加があった。1-2 回/年を目安に継続的に開催予定。

* 2023 年度より「母乳育児推進室」を「赤ちゃんにやさしい病院(BFH)推進室」へ変更・室規定改定。